

# 多職種協働による演劇を通じた 在宅医療、地域包括ケアの普及啓発

～市民フォーラムでの取り組み～

神戸市医師会在宅ケア介護保険担当理事、垂水区医師会副会長

NPO法人エナガの会代表理事

中村治正

神戸市垂水区保健福祉部健康福祉課長 小寺孝治

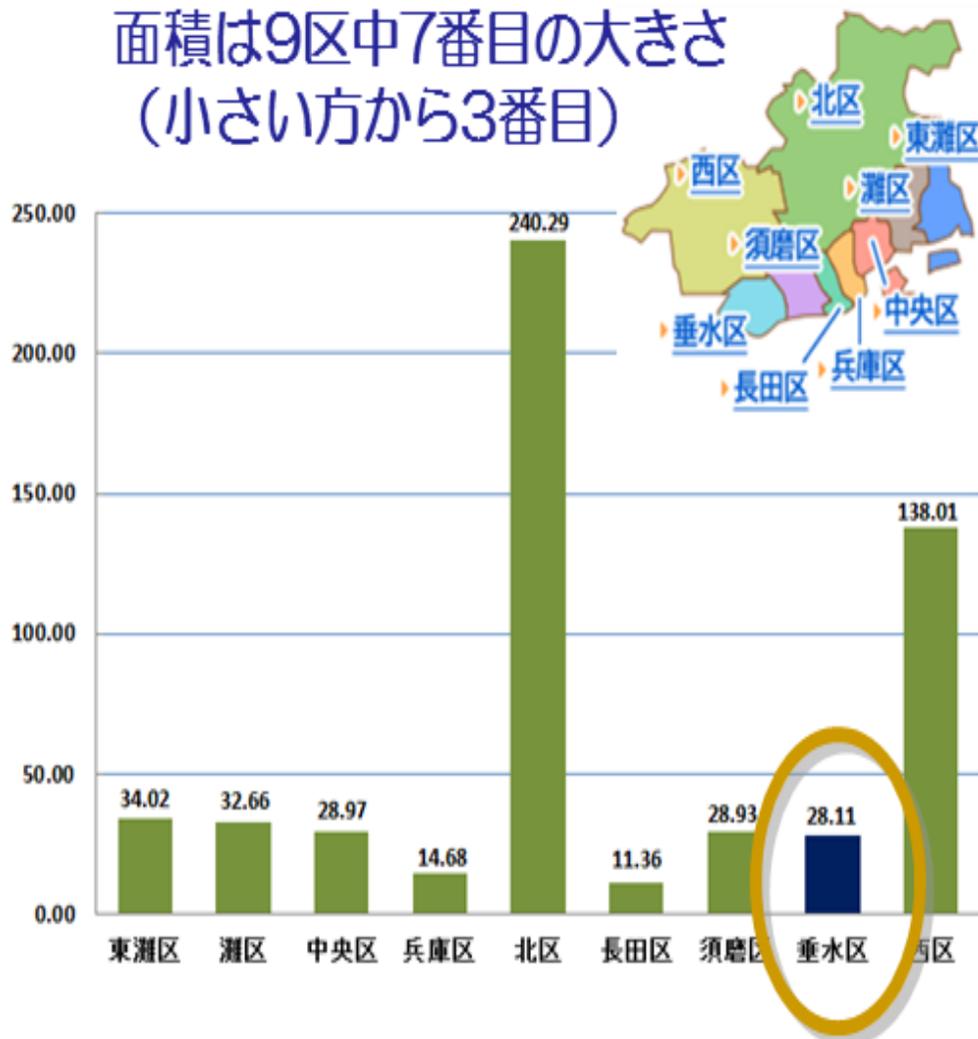
平成29年12月8日(金)

「第5回全国在宅医療会議ワーキンググループ」

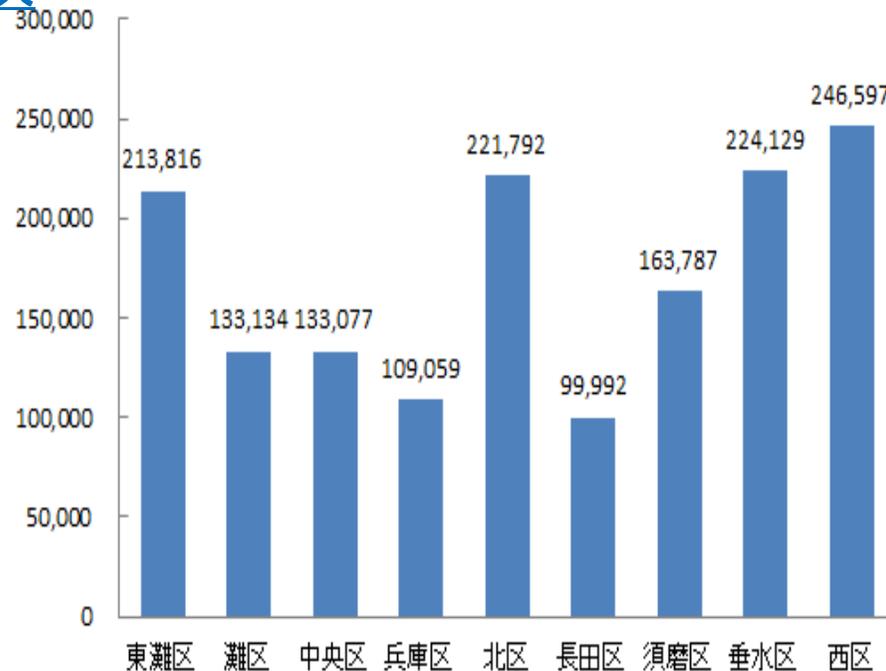
# 神戸市垂水区

◇区別面積 (単位:  $\text{km}^2$ )

面積は9区中7番目の大きさ  
(小さい方から3番目)



●人口(H28.12末) ... 約22万人 (神戸市9区中2番目) ※神戸市  
人口 約154万人



●年齢別人口(H28.12末) ... 65歳以上人口 約6.3万人 (神戸市9区中1番目)

	垂水区	順位	市全体
15歳未満人口 (人)	30,032	2	193,246
15~64歳人口 (人)	130,206	3	936,292
65歳以上人口 (人)	63,891	1	415,845

- 病院から在宅まで患者家族を支えるケア
- 地域で関わる他の職種との連携強化を！

**多職種地域連携協働**  
**兵庫県在宅ケアチーム作り支援事業**



**神戸西医療・介護地域ケアネット(エナガの会)**  
毎月の勉強会、意見交換会と年2回の講演会  
2009.03設立



医師

歯科医師

薬剤師

病院地域連携室

看護師

ケアマネ

サポート ゆう HEART WITH YOU

垂水区地域ケア推進検討委員会 垂水多職種連携の会  
(垂水在宅医療介護福祉連携委員会) H22.03～



**参加団体**

垂水区医師会・垂水区歯科医師会・垂水区薬剤師会・兵庫県栄養士会  
訪問看護ステーション連絡協議会垂水区・兵庫県歯科衛生士会  
兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会・病院連携室  
垂水区保健福祉部健康福祉課・神戸市ケアマネジャー連絡会垂水区  
あんしんすこやかセンター職員・  
神戸西医療・介護地域ケアネットワークの会（エナガの会）  
神戸市老人福祉施設連盟垂水ブロック・垂水区社会福祉協議会

# 昔の退院



## 本人、家族のいろいろな不安



- お風呂はどうしたらいいかしら？
- トイレにつれていけるかなあ？
- おむつ交換は一人でできるだろうか？
- リハビリをもっと続けたいんだけど...
- 胃ろうや尿の管がついているけれど大丈夫？
- 急に容態がかわったら、どうしよう！
- お薬はちゃんと間違えずに飲めるかなあ？  
など...





医療を取り巻く状況も変わり、病院から早い段階での退院をお願いされることが増えてきています。あなたやあなたのご家族に継続的な医療や介護が必要になった時、地域でどんな人がどのような仕組みで支えてくれるのでしょうか？色んな話を聞いて皆さんと一緒に考えてみましょう。

**日時** 2012年7月21日(土) 14:00～(受付時間13:30～)

**場所** 神戸市立垂水勤労市民センター レバンテホール **入場無料**

### ～市民フォーラム・プログラム～

#### 第Ⅰ部

- |                    |                           |           |
|--------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 行政から .....      | 神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課        | 上田 智也 さん  |
| 2. 病院地域連携室から ..... | 神戸中央市民病院地域連携室 看護師         | 山森 みどり さん |
| 3. ケアマネジャーから ..... | 垂水在宅福祉センター(オービーホーム)       | 高木 加苗 さん  |
| 4. 介護施設から .....    | 介護老人保健施設 名谷すみれ苑 ソーシャルワーカー | 大上 信幸 さん  |

#### 第Ⅱ部

- |                       |                        |          |
|-----------------------|------------------------|----------|
| 1. 病院及び在宅医から .....    | 医療法人社団倫生会 みどり病院        | 清水 政克 さん |
| 2. 訪問看護ステーションから ..... | 西部しあわせ訪問看護ステーション 理学療法士 | 西川 祐子 さん |
| 3. 歯科医師から .....       | 垂水区歯科医師会 福山歯科医院        | 福山 博人 さん |
| 4. 薬局薬剤師から .....      | 垂水区薬剤師会 フタツカ薬局         | 山本 哲也 さん |



# 退院を告げられたら... 私たちが支えます **パート2**

**入場無料  
申込不要**

医療を取り巻く状況も変わり、病院から早い段階での退院をお願いされることが増えてきています。あなたやあなたのご家族に継続的な医療や介護が必要になった時、地域でどのような人がどのような仕組みで支えてくれるのでしょうか？ **今回は劇を交えてわかりやすく説明いたします。**

**日時** 2013年2月16日(土) **15:00**～(受付開始14:30～)

**場所** 神戸市立垂水勤労市民センター レバンテホール **定員:500名**  
(神戸市垂水区日向1-5-1レバンテ垂水2番館3階)

## ～市民フォーラム・プログラム～

**① 15:00～16:00** 寸劇「裕次郎さんの退院」

突然脳梗塞で救急車で運ばれた裕次郎さん。搬送先の病院の懸命な手当てによりなんとか一命は取り留めたものの、左半身マヒの障害が残ってしまう。病院



**シナリオ、役者、裏方、音楽その他すべて多職種による手作り劇**

(演劇は素人の医療・介護の専門職が手作りで劇を演じます。)

**② 16:00 17:00** 講演「これからのかみそ考へる」

# 認知症の人たちも… 私たちが支えます



**入場無料  
申込不要**

尊厳をもって最期まで自分らしくありたい。これは誰もが望むことです。この願いを阻み、深刻な問題になっているのが「認知症」です。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気に起因するものです。85歳以上では4人に1人にその症状があるといわれ、今後、高齢化に伴い、認知症高齢者数も急増することが予想されています。

今回はその認知症をテーマに劇と講座を交えて説明します。今回のフォーラムは「**認知症サポーター**」養成講座を兼ねておりますので参加していただきますと「**認知症サポーター**」として認められます。

## ※認知症サポーターとは

認知症について正しく理解し、偏見を持たずに認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。認知症サポーターには「認知症の人を支援します」という意思を示す「目印」であるブレスレット「**オレンジリング**」が渡されます。



**日時** 2014年8月31日(日) 13:30～(受付開始13:00～)

**場所** 神戸市立垂水勤労市民センター レバンテホール **定員:500名**

(神戸市垂水区日向1-5-1レバンテ垂水2番館3階)



～市民フォーラム・プログラム～

**13:30～15:30** 劇と講座「裕次郎さん

**認知症サポーターになる！」**

認知症サポーター養成講座を受講し、認知症について勉強した裕次郎さんは、地域に様々な課題があることを知ります。徘徊する人にどう対応すればよいのか?認知症を診てくれる病院はどこにあるのか?もしも、自分や家族が認知症になったら……どうしたらいいのか?予防法はないのか……様々な疑問がわいてきます。

皆さんも、劇をみながら裕次郎さんと一緒に、認知症について勉強しませんか?



# 神戸市 認知症 市民フォーラム

**入場無料**

定員**500名**  
事前申し込み必要

※裏面に必要な内容を記載の上、FAXまたははがきでお申込みください。

日時 平成26年 **12月8日(月)**  
14:00~16:30 (開場 13:30)

会場 **神戸朝日ホール**  
神戸市中央区浪花町59番地



## Program

開会ご挨拶 14:00 神戸市役

劇 14:05

『裕次郎さん 認知症サポーターになる』



垂水区長

# 市民フォーラム第5回

## 2015/11/01

医療・介護地域ケアネットワーク 市民フォーラム **パート5** (劇と講座)

### 幸せな人生を送るために

入場無料

～終活って何?～



先着500名

「死」なんてまだまだ自分には関係ないと思っているかもしれませんが、しかし、「死」は必ず誰にも訪れます。尊厳をもって最期まで自分らしくありたい。これは誰もが望むことです。この願いをかなえるためには何が必要なのでしょう？今回は幸せな人生を送るために、「終活」について劇でわかりやすく伝えたいと思います。このフォーラムをきっかけに、自分の人生を見直し、家族や周りの方々と共に語り合うことができるようになればと考えております。

日時 **2015年11月1日(日) 13:30~15:30**  
(受付開始13:00~)

場所 **神戸市立垂水勤労市民センター レバンテホール**  
(神戸市垂水区日向1-5-1レバンテ垂水2番館3階)

～市民フォーラム・プログラム～

#### 「裕次郎さんの終活! ～幸せに最期を迎えるための5か条～」

裕次郎さんはあるイベントに参加し、死の準備の必要性について学んだ。そこで、エンディングノートを活用し、死の準備を始めることに…。最初はなんとなくのスタートだったが、地域で多くの人々が亡くなる現実を知ること…。医療や介護の専門職の話、救急隊員や行政の方の話、知人の在宅死から、裕次郎さんは本気になっていく。人の最期はさまざまです。家族に見守られて、一人暮らしの中齢かに、住み慣れた自宅で。病院で。施設で。多くの選択肢がある中で、裕次郎さんはどのようなことを考え、何を選ぶのか。皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。



# 幸せに最後を迎えるための5か条

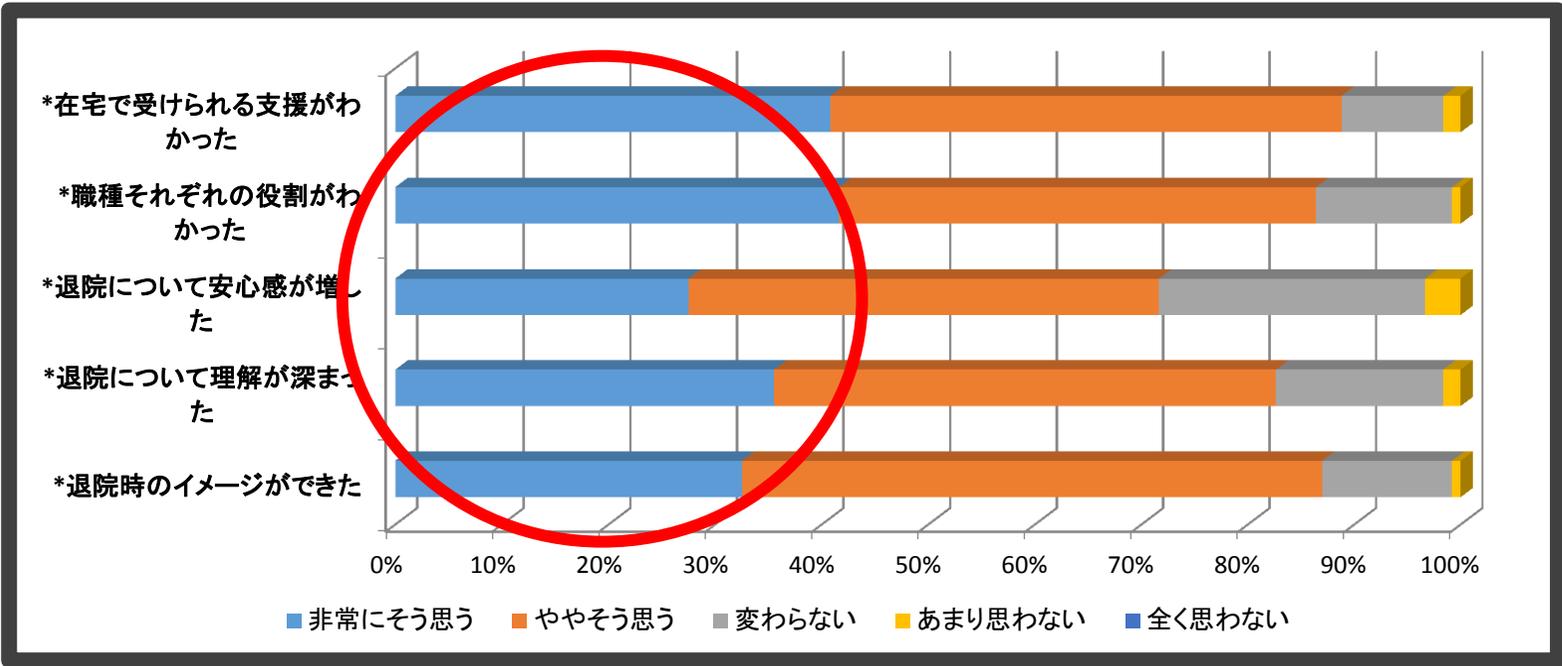


# なんで劇???

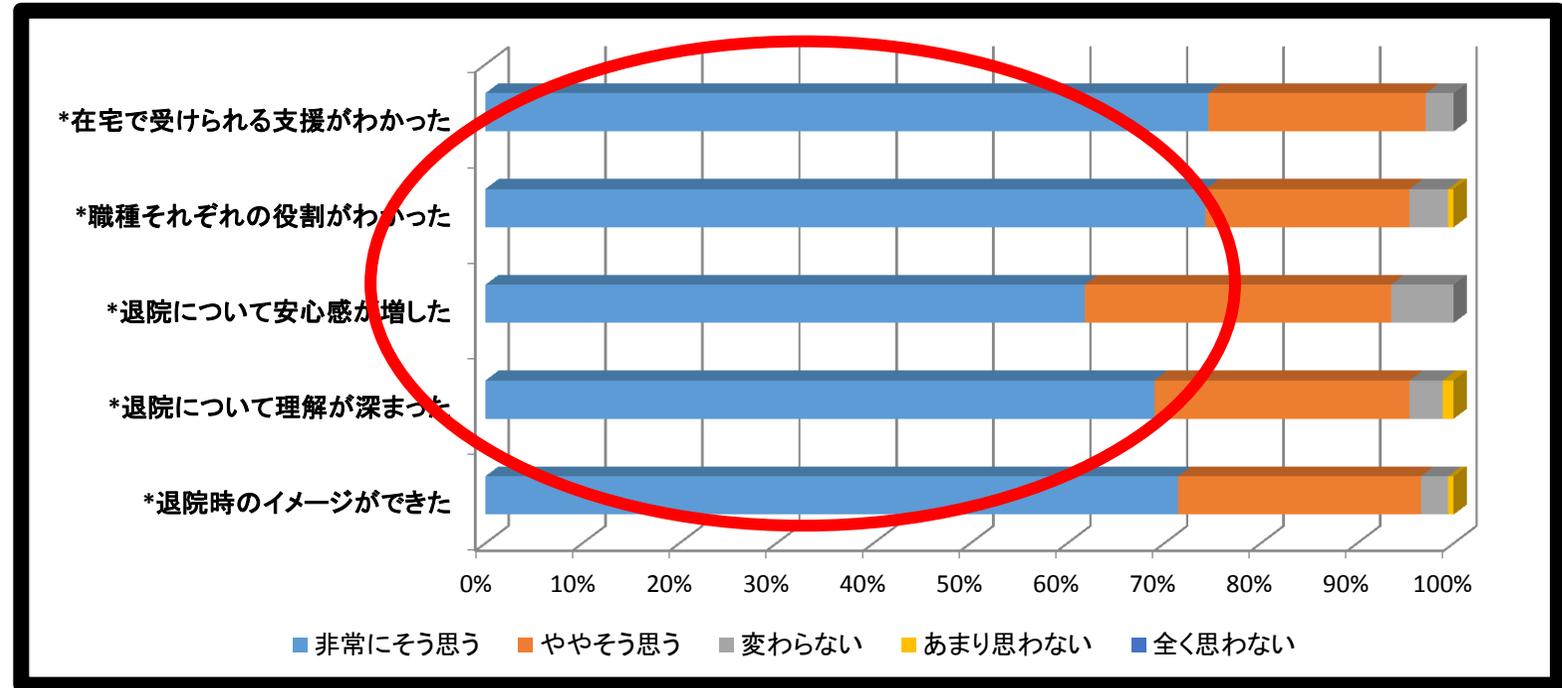
①市民への理解と啓発

デリケートで深刻な内容も笑  
いを交えて、大事な事を分か  
りやすく伝えることができる

# 第1回(講義)



# 第2回(劇)



# 劇を見た市民のアンケート 1

- 一人暮らしのため終活の大事さを痛感しました。安心カードを  
しっかり記入して、子供たちと話し合っておきたいと思いま  
す。
- 家族だからこそ、終活の内容は相談しにくいことがあると思い  
ますが、社会全体がこのような終活の意義を理解できれば幸せ  
な最期を迎えられる人が増えると感じました。
- 親とどのように死について、延命について考えているのか話し  
合いたい。今のうちから考えておくことが大切だと思った。
- 早速エンディングノートを作成します。家族と今後について話  
し合います。
- 自分のこと、家族のことの今後についてしっかり考えていきた  
いと思います。
- デリケートな問題ですが劇にすることで理解しやすくよかったで  
す。

## 劇を見た市民のアンケート2

- 母を在宅医療で見てきました往診医と話し合っで最後の10日間は病院で過ごしことになりませんがこれでよかったのかとの考えが・・・。ああすれば、こうすればよかったとの思いがずっと続いていました。今日の後半になってようやく心の曇りが晴れたように思います。今日は本当によかったです。
- 自身も主人を在宅医療で看取りましたので、思い出し身につまされました。
- 「他人事ではない」の言葉にハッとさせられました。今夜にでも家族と話し合ってみようと思います。
- 「在宅での療養、看取りの様子がよく分かった。最後のふるさとの唄を聞きながら、横を見ると一緒に来たお爺ちゃんが泣いていた」91歳、女性

# 市民フォーラム第6回

## 2016/09/22

医療・介護地域ケアネットワーク 市民フォーラム **パート6** (劇と講座)

**幸せな人生を  
送るために**



**入場無料**

**先着  
500名**

～高齢者施設とは?～

新聞で「特養の待機者が〇万人」というような記事を見たことはないでしょうか?  
特養ってどんな施設かご存知でしょうか?

「特養」以外にも「高齢者施設」には様々な種類があります。たくさんある「高齢者施設」を選ぶときに、  
どんなことに気を付けたらいいのでしょうか?

今回は、「自宅」で過ごすことが難しくなり、「高齢者施設」への入所を検討するまでの流れを劇で  
わかりやすく伝えたいと思います。このフォーラムを通して、「高齢者施設」についての理解を深め、  
入所を考える時に、参考にしていただける知識を提供いたします。

**日時** 2016年9月22日(木) (秋分の日) **13:30~16:00**

**場所** 神戸市立垂水勤労市民センター レバンテホール (受付開始13:00~)  
(神戸市垂水区日向1-5-1レバンテ垂水2番館3階)

～市民フォーラム・プログラム～ **裕次郎さんの施設見学!**

～終の棲家を考えよう、もっと、ずっと、大切なくらしを続けるために～

ある日、裕次郎さんは近所で「高齢者施設に入るかどうか?」で悩んでいる人達の話を聞きました。  
高齢者施設は、たくさん種類があり、機能も費用もそれぞれ違うといえます。正直なところ、どうなっている  
のが良くわかりません。そこで、みんなで、「将来に備え、施設の見学に行つて、勉強しよう!」ということになり  
ました。

裕次郎さんは、最初は乗り気ではなかったのですが、突然、妻が入院してしまいます。急に生活が変化し、今後  
への不安が大きくなってきます。「もしも、このまま一人きりになったら…」裕次郎さんは「もしもの時のために  
たくさんの施設を、見学して理解しておこう!」と真剣になっていきます。専門職の皆さんの協力を得ながら、  
十数種あるという高齢者施設を見学してまいります! さあ、皆さんも、裕次郎さんと一緒に、高齢者施設につ  
いて勉強しましょう!

**歌手俳優の佐川満男様(垂水区在  
住)  
も出演してくれました。**



**本物の消防隊**



神戸市長



山田区  
長



Copyright © D's Studio All Rights Reserved

# なんで劇???

②見ている市民にとって身近な職種が出演している劇を見ることによる親近感と安心感

# 劇を見た市民のアンケート3

- 初めて市民フォーラムに参加したが、本当に来てよかった。地域でこんなに多くの方々が、頑張ってくれていると思うと感謝でいっぱいです。
- 患者としていつも●●先生にお世話になっています。すごく身近に感じられ、増々好感を持って、是非このまま続けてください。
- スタッフの一生懸命の演技に感謝します。本当に良かったと思います。
- 顔見知りの先生方のお芝居に新鮮な感動を覚えました。
- 自分の親がまさしくこのステージ。なんか「涙」して見ていました。たどたどしい感じが良かったです。●●先生、最高！
- 日頃お世話になっている先生方なので内容もとても参考になりました。
- 5条のことを前向きに考えてみたいです。在宅医療でお世話になり心強かったです。こんなに支えてくださる方々がいると思うと安心です。
- 地域の先生方が連携されているようで、頼もしいです。
- 「相談出来る方が地域に沢山おられることがわかり、安心した」

# なんで劇???

③劇作りの過程において各  
専門職が繋がっていく---  
地域の財産へ

# 劇作りに参加した専門職の声

- テーマやシナリオや各職種からの声を聴いたりして勉強になった
- 普段、お会いする機会のない介護に関わる方々とお話できたり、多方面の方々と直接相談できるようになり、地域の一体感を実感出来た。
- 医療・介護の方と「顔の見える関係」を築くことができたこと
- 多くの人と協働して活動ができる楽しさ、当日のワクワク感、楽しさ、たくさんの方々と関われ、ご縁を頂けて良かったです。
- 色々な職種の方の業務内容そして苦労を理解することができたことで、連携の強化また、地域包括ケアの更なる質の向上につながると実感できた。この劇作りの練習自体が多職種による地域包括ケアのモデルではないかと思えます
- 個人の意外性(趣味など)を敢えて見せることで、人間性が理解でき、より強い連携関係や親しみが生まれる
- 終了時の強い一体感は、他では決して得られない体験であり、今後の業務で起きた問題点も解決できそうな気になれる
- 頼みにくいことも「あの人なら」と思い依頼や連絡をすることが可能になる
- 以前と異なり多職種(ヘルパー、警察、市等)と連携できるようになった(救急隊)

	第1回(退院)	第2回(介護予防)	第3回(認知症サポーター)	第4回(終活)	第5回(施設見学)	第6回(まちづくり)	合計
医師	3	6	8	10	9	9	45
歯科医師	2	2	3	4	4	4	19
薬剤師	3	4	5	6	6	5	29
NS	5	5	6	9	7	8	40
PT	1	3	2	2	3	1	12
OT	0	0	0	0	0	1	1
歯科衛生士	0	1	1	1	1	1	5
CM	4	4	5	7	8	10	38
介護士	1	1	1	1	5	3	12
社会福祉士	1	1	3	4	4	3	16
福祉用具	1	0	0	1	0	0	2
行政	0	1	4	7	7	6	25
社協	0	0	2	2	2	3	9
地域包括	2	2	2	2	3	4	15
救急隊	0	0	0	3	4	4	11
消防隊	0	0	0	0	0	1	1
認知症初期集中スタッフ	0	0	0	0	0	3	3
葬儀社	0	0	0	1	1	1	3
ふれあい街づくり協議会	0	0	0	1	1	1	3
コミュニティバス	0	0	0	0	0	1	1
婦人会	0	1	0	0	0	0	1
認知症家族の会	0	0	1	0	0	1	2
ボイストレーナー	0	0	0	0	1	0	1
俳優	0	0	0	0	1	0	1
合計	23	31	43	61	67	70	295

# 皆様の地域で 私たちが支えます



# 劇作りの実際

1. 何人かのメンバーでテーマについて考える・・・
2. テーマについてそれぞれ思っていることを自由に意見交換
3. 意見交換をもとに脚本家(社会福祉士)が脚本第1稿を作成
4. 練習開始 重ねるごとに製作スタッフである多職種で脚本の修正
  - ・時間配分的に問題は？
  - ・内容に問題はないか？
  - ・伝えたいことが入っているか？など
5. 練習を繰り返しながら脚本を完成

劇作りの意味、どの地区でも可能か？

## 「市民啓発」の観点から

- 劇の完成度はそれほど重要でない
- 身近な専門職が不慣れながらも一生懸命取り組んでいる姿勢が重要→それを市民（患者・利用者）が見ることで強い信頼感が生まれる
- 「言葉」だけではなく「ビジュアル」「ストーリー」と組み合わせることで記憶が強く残る
- 「言いにくいこと」（いつかは死ぬなど）を伝える手段として有効

## 「多職種連携」の観点から

- 個人の意外性（趣味、性格など）を敢えて見せることで、人間性が理解でき、より強い連携関係や親しみが生まれる
- 終了時の強い一体感は、他では決して得られない体験であり、今後の業務連携にも繋がる



# 全国各地で取り組むために

- 地区行政と医師会が協働することにより多くの関係職種が集う場を作ることがまず必要
  - 医療介護連携事業の「市民啓発」に位置付け、連携拠点（全国展開されている在宅医療・介護連携支援センターなど）が中心となり取り組みを進める（手引きに盛り込む）
  - 垂水区等のノウハウをまとめ、「劇」を作る過程の見える化
  - ノウハウ
- ⇒ 脚本・解説書（劇ができるまで・脚本の意図） ・ 動画  
他

# 行政との連携

---

(民間主体 (地域ケアネットワーク) での活動)



① **行政関係者の出演** (垂水区長ほか)



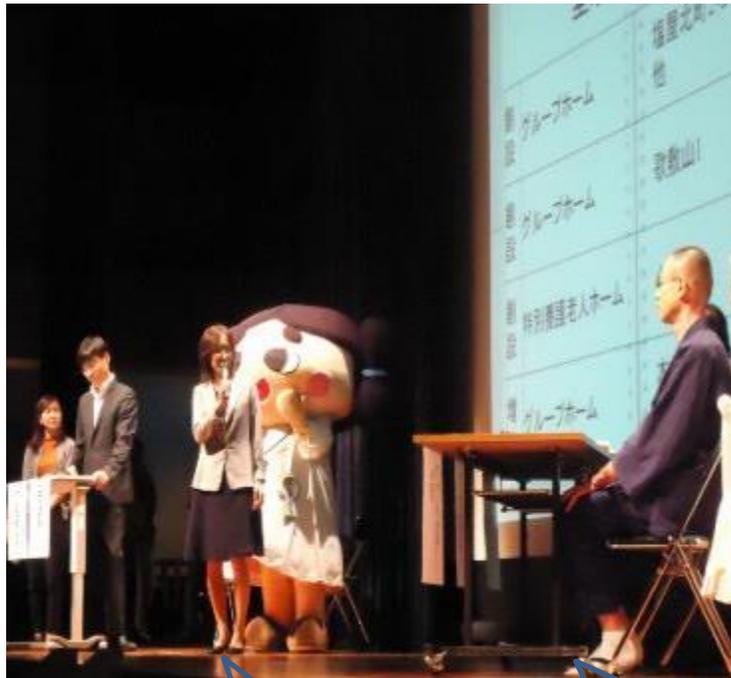
② **広報の支援** (広報紙、地域配布チラシ等)



③ **市の委託事業に位置づけ**  
(医療介護サポートセンター)

# ①行政関係者の出演

⇒医療・介護関係者と行政関係者との  
「顔の見える関係」づくり



垂水区長

垂水区保健福祉  
部長

神戸市長、  
垂水区長、  
区保健福祉部長、  
区保健師  
などが出演。

さまざまな取組みの  
中でも  
このつながりが活き  
る。

## ② 広報の支援

⇒ 集客力向上、多数の市民への啓発

### ○ 区広報紙

2 区民広報紙 たるみ 2017年(平成29年) 11月号

#### 認知症に関する取り組み

垂水区では認知症になっても住み慣れた地域で安心して過ごせるようにいろいろな取り組みをしています。

① 垂水区認知症家族のための講義・交流会  
内容/講義:「認知症の人の介護、どうすればいい?」  
交流会:おしゃべりの中から生まれるヒント  
講師:社会福祉法人ひとまる会 木村 和弘  
日時/11月29日(水) 13:30~15:30(受付13:00~)  
場所/垂水区役所 2階健康教育室2-3  
対象/認知症の方を介護されているご家族または家族が認知症でないか不安に思われる人  
申し込み/住所、氏名、電話番号を記入しFAXまたは電話で下記へ。  
申し込み期限:11月1日(水)~11月17日(金)  
※介護や昇任が必要の方も一緒に参加される場合は申し込み時にその旨をお伝えください

② 医療・介護地域ケアネットワーク 市民フォーラム(劇)  
内容/裕次郎さんのまちづくり宣言  
「認知症の人にやさしいまち」  
日時/11月26日(日) 13:30~16:00  
(受付13:00~)  
集合場所/垂水勤労市民センター  
レバンテホール

③ 問い合わせ/垂水区医療介護サポートセンター  
☎ 785-1166 FAX 785-1167

無料  
先着500人  
申込不要



### ○ FACEBOOK

ホーム 投稿 動画 写真 ページ情報 コミュニ

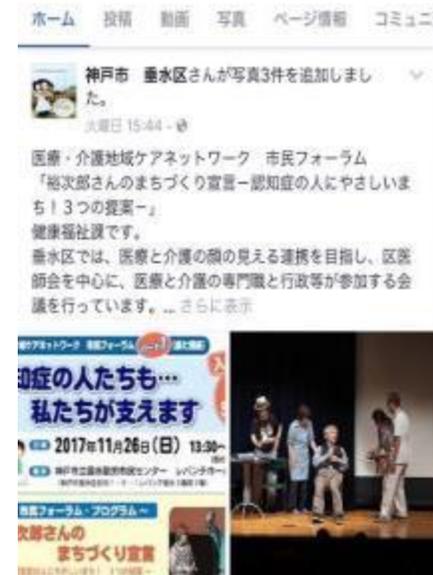
神戸市 垂水区さんが写真3件を追加しました。  
大曜日 15:44 - 心

医療・介護地域ケアネットワーク 市民フォーラム  
「裕次郎さんのまちづくり宣言-認知症の人にやさしいまち13つの提案-」  
健康福祉課です。  
垂水区では、医療と介護の顔の見える連携を目指し、区医師会を中心に、医療と介護の専門職と行政等が参加する会議を行っています。...さらに表示

2017年11月26日(日) 13:30~16:00  
2017年11月26日(日) 13:30~16:00  
垂水区医療介護サポートセンター レバンテホール

認知症の人たちも...  
私たちが支えます  
2017年11月26日(日) 13:30~16:00  
垂水区医療介護サポートセンター レバンテホール

市民フォーラム・プログラム  
次郎さんのまちづくり宣言



○ 記者資料提供 (神戸市政記者クラブ)

○ 地域へのチラシ配布

(区内自治会、民生委員、地域包括支援センターなど)

# ③市の委託事業に位置づけ

⇒垂水区医療介護サポートセンターの実施事業に  
(在宅医療・介護連携支援センター)

## 医療介護サポートセンター

- 在宅医療に関する相談窓口
- 地域の医療・介護資源の把握
- 多職種連携会議の開催
- 医療・介護関係者への研修
- 地域住民への普及啓発
- 退院調整への支援

### コーディネーター

介護支援専門員  
(ケアマネジャー)の  
資格をもつ  
看護職・  
社会福祉士等



# 認知症の人たちも… 私たちが支えます

入場無料

先着  
500名



**日時** 2017年11月26日(日) 13:30~16:00

(受付開始13:00~)

**場所** 神戸市立墨水勤労市民センター レバンテホール

(神戸市墨水区日向1-5-1レバンテ墨水2番館3階)

## ～市民フォーラム・プログラム～

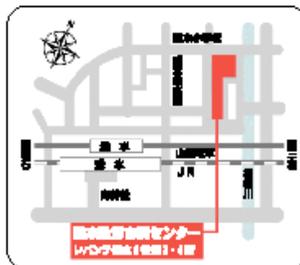
### 裕次郎さんの まちづくり宣言

～認知症の人にやさしいまち! 3つの提案～



自治会長に頼まれて、裕次郎さんは臨時の自治会長に就任します。最初の役割は、「認知症の人にやさしいまちづくり」について、住民の意見をまとめて区役所に提出することです。しかし、出てくる意見は、認知症への不安と不満と苦情ばかり……認知症の人にやさしいまちについて考えるどころではありません。そんな時、1人暮らしの認知症の人の家が火事になり、認知症ドライバーと思われる人が事故を起こしてしまいます。地域の人々の不安はさらに広がります。現実には難しい問題ばかりです。しかし、高齢者の4人に1人が認知症になると言われ、認知症予備軍といわれる人が400万人とされている時代です。認知症については、目を背けずに考えていかなければなりません。裕次郎さんは、地域での様々な体験を通して、地域で住み続けるために認知症の人にやさしいまちについて、3つの提案を考えます。

## アクセス



神戸市墨水区日向1丁目5番1号  
(レバンテ墨水2番館3階)  
TEL: 078-708-8901  
交通機関: JR/山陽電鉄 墨水駅 北東へ徒歩3分

## 共催

● 墨水区医療介護サポートセンター ● NPO法人エナガの会

## 後援

● 兵庫県医師会 ● 神戸市医師会 ● 墨水区医師会  
● 墨水区歯科医師会 ● 墨水区薬剤師会 ● 兵庫県歯科衛生士会  
● 兵庫県南海電鉄ステーション連絡協議会 墨水支部  
● 兵庫県リハビリ士会合同地域支援推進協議会 ● 兵庫県栄養士会  
● 神戸市ケアマネジャー連絡会 ● 神戸市リハ職地域支援協議会  
● 神戸市シルバーサービス事業推進委員会 ● 兵庫県社会福祉士会  
● 神戸市介護老人保健施設協会 ● 神戸市老人福祉施設協議会  
● 墨水区 ● 墨水労働者 ● 墨水区社会福祉協議会

問合せ先: 墨水区医療介護サポートセンター  
(TEL: 078-785-1188)

# まとめ

- 他の地域で一から始めるのは困難か  
劇作りのためのサポートがあれば可能
- 劇を作るにはそれ相応の労力が必要。
- しかしツールを上手に使えば、かけた「労力」以上の成果が必ず生まれる。
- その結果、他の方法では得られない「市民啓発」+「多職種連携」を可能とする。